

神奈川県高等学校体育連盟 陸上競技専門部
駅伝競走大会開催に伴う新型コロナウイルス感染防止対策と対応について
参加校(顧問・生徒)が事前に確認して対応や準備について

確認事項

- 1 (公財)日本陸上競技連盟が発信した『陸上競技活動再開のガイダンス』(日本陸連のHP上に掲載されています。)を確認してください。特に練習や事前準備については『日常活動について』の内容を参考にして取り組んでください。
- 2 保護者・OBなどの応援者の来場はできません(無観客試合)。そのことを関係者に周知してください。
- 3 競技会場へ来場できる部員は出場する選手(補欠含む)に加え、大会補助員、各中継所の付き添い、各校テント・貴重品管理者とする。『【別紙】神奈川県高等学校駅伝競走大会に係る参加者の人数制限について』を参照すること。
感染症拡大防止のため最小限の人数となるよう工夫をしてください。
- 4 つぎに示す方法で、事前の体調管理をしてください。その結果、問題のないことが確認できた生徒について駅伝競走大会への参加を認めることとします。
関係する人々全員の生命にかかわることですので、厳密に対応してください。また、顧問の判断に関わらず、体調に不安のある生徒を確認した場合は、主催者が帰宅を命ずる場合もあります。

- ①顧問は生徒に駅伝競走大会1週間前からの体調管理を義務付ける。
(『【別紙1】大会前:新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート』を生徒に配付し、記入の指示をする。)また、『【別紙2】生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書』を配付する。
- ②顧問は大会当日、記入済みの【別紙2】を生徒から回収し、内容を確認し(保護者印など)、保管をする。
体調につきの点や、その他不安のある生徒がいた場合は、大会参加や競技会場滞在を認めず、家庭と連携を取り帰宅させること。
[参加や競技会場滞在を認めないケース]
 - ・大会当日を含み、大会1週間前から37.5度以上の発熱がある。
 - ・【別紙1】にチェックした項目が1つ以上ある。
 - ・【別紙2】にチェックがない項目がある。
 - ・その他、顧問が体調不良を理由に判断した場合。
- ③上記②のケースが発生した場合、大会本部に速やかに報告をする。
- ④生徒から回収した【別紙2】の結果、問題がないことが確認できたら、『【別紙3】参加状況確認書』を大会本部へ提出する。
- ⑤【別紙1～3】は高体連ホームページからダウンロードできます。

- 5 大会参加にあたっては、必ず学校長の承認を得てください。

用意する物

- 1 各校待機場所で手・手指の消毒をする消毒液を、各学校で準備してください。
- 2 自分専用のごみ袋を持参してください。ゴミは持ち帰りとします。特に体液の付着したゴミは袋に入れて処理するなど注意を払ってください。
- 3 中継所における選手の衣類等を扱うための、手袋・ビニール袋等を各学校で準備してください。

当日に実行すること

- 1 3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を回避する行動をとってください。
そのために、競技役員の指示に従ってください。また自分でも感染症予防に努め、適切な判断をして行動をしてください。
- 2 感染症対策に取り組んでください。
 - ・こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保ってください。
 - ・競技中不用意に手で顔を触らないよう気を付けてください。また、終了後の手洗い・洗顔を徹底してください。
 - ・全員がマスクを着用し、咳エチケットを遵守する。ただし、競技中に息苦しさを感じた場合は、マスクを外し、無理をしないでください。
 - ・レース中のマスク着用は義務づけはないが、招集中・移動中・待機中等は、マスクを着用してください。
 - ・競技者は、ゴール後にマスクの着用ができるようにチーム内で荷物等の連携をとること。付添いが、選手の衣類・荷物等を扱う場合は、手袋を着用し、ビニール袋等で直接触れないようにしてください。
 - ・競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用するようにしてください。
 - ・チームスタッフは常にマスクを着用してください。
- 3 ウォーミングアップは個別に行ってください。(集団で行わない。)
出場選手のウォーミングアップ中はマスクの着用は任意ですが、待機中は着用してください。
- 4 声を出しての応援、集団応援はしないでください。
- 5 テント等、各校待機場所ではソーシャルディスタンスを保てるよう、各校で工夫をし、競技役員の指示に従ってください。
- 6 更衣室の利用は更衣のみとします。ソーシャルディスタンスを保てるスペースで使用してください。
スペースがすべて使用中の場合は部屋の外で待機し、空きを待って使用してください。
更衣が終わった者は速やかに退出し、待機者と交替するようにしてください。

神奈川県高等学校体育連盟 陸上競技専門部
駅伝競走大会開催に伴う新型コロナウイルス感染防止対策と対応について

競技会参加にむけての各校の対応について

(公財)日本陸上競技連盟が発信した『陸上競技活動再開のガイダンス』に示されている『日常活動について』に従い、顧問の指導のもと、競技会参加に向けての準備に取り組んでください。

『陸上競技活動再開のガイダンス』は(公財)日本陸上競技連盟のホームページ上に掲載されています。

感染リスクを軽減させた駅伝競走大会の運営について

【駅伝競走大会開催の前提条件】

- 1 緊急事態宣言の解除
- 2 神奈川県警戒アラートが発令されていない。
(発出されていても①～③の条件下であれば開催する。)
 - ①移動制限の解除
 - ②不要不急の外出自粛の解除
 - ③店舗営業自粛の解除
- 3 学校において部活動・対外競技会への参加が認められている。
- 4 駅伝競技大会開催を管轄する自治体からイベントの開催が認められている。
- 5 医療機関に新型コロナウイルス感染症患者受け入れ対応の余裕がある状態である。
- 6 駅伝競走大会に関わる全ての人(審判員・競技者・顧問など)の健康状態の管理体制を整える。
- 7 「陸上競技活動再開のガイダンス(日本陸連発信)」の「競技会開催について」と、ここに示す内容に沿った競技運営をする。

【駅伝競技大会開催にあたっての基本注意事項】

- 1 3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を回避する。
- 2 感染症対策に取り組む。
 - ・こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
 - ・マスクを着用し、咳エチケットを遵守する。ただし、競技中は息苦しさを感じた場合はマスクを外し、無理をしないこと。
- 3 主催者としてつぎのことに取り組む。
 - ・駅伝競走大会開催地および医療機関の協力を得る。
 - ・3密を解消する工夫を徹底する。
 - ・多くの人が頻繁に触れる箇所を清掃・消毒し、環境を清潔に保つ。
- 4 駅伝競走大会に関わる全ての人(審判員・競技者・部員・顧問など)がすべきこと。
 - ・発熱等、体調不良者は来場せず自宅で静養する。
 - ・3密を避けて行動することを徹底する。

- ・体調管理を徹底する。
- ・駅伝競走大会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所に相談し、指示を受ける。受診や検査を勧められた場合は速やかに受診し、大会主催者に必ず報告すること。

【駅伝競技大会開催にあたって取り組むこと】

1 主催者の取り組み

- (1) 大会開催2週間前までに県陸協へ『競技会開催の基本情報と前提条件の確認【提出用チェックリスト】』を提出する。
- (2) 各所に消毒に有効な薬剤を配置する。
- (3) 医務員用の手袋・フェイスガード、給水用の手袋を用意する。
- (4) 医務室に体温計を用意し、必要とされる場合に備える。
- (5) 対面した対応をする場所にシールドを設置する。
(役員受付・プログラム販売所等)
- (6) 更衣室はソーシャルディスタンスが保てるスペースを確保する。
- (7) 顧問からの報告の有無にかかわらず、体調不良と大会本部で判断した生徒を帰宅させる。
- (8) 競技会場への、応援のための保護者や OB などの来場は感染予防のため禁止とする。

2 競技役員の取り組み

- (1) 3密(密閉・密集・密接)を回避する。
 - ア) ソーシャルディスタンス(約2m)を確保する。
 - ・控室では机を使用せず、最小限の椅子の利用でソーシャルディスタンスを確保する。
 - ・密が発生しないよう競技者をコントロールする。
 - ・競技結果はアナウンスを活用するとともに、紙媒体の掲示場所を増設し密を避ける。
 - イ) 開・閉会式や表彰は実施しない。
 - ウ) 室内の換気を行う。
- (2) 会場でコロナウイルス対策を積極的にアナウンスする。
- (3) 使用場所や使用器具等の消毒・清掃を行う。
- (4) マスクの着用、眼からの飛沫感染を防ぐための眼鏡またはサングラス、使い捨ての手袋などを準備する。
- (5) 競技者との接触を減らす工夫をする。
- (6) 発熱者がでた場合は、関係機関へ相談をし、顧問・保護者と連携をとり、速やかに帰宅させる等の対応をする。
- (7) 基礎疾患を持っている競技役員は委嘱を辞退する。

3 各学校(顧問、生徒)の取り組み

- (1) 3密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つような行動を徹底する。
 - ア) テントで待機する人数を少なくし、人との距離を2m程度保つよう工夫する。
 - イ) 更衣室の利用は更衣のみとし、ソーシャルディスタンスを保つスペースで使用する。
スペースがすべて使用中の場合は部屋の外で待機し、空きを待って使用する。
更衣が終わった者は速やかに退出し、待機者と交替すること。
 - ウ) ウォーミングアップは個別に行う。(集団で行わない。)
- (2) 集合時間をできる限りずらすなどの工夫をする。

(3) 運動時や体調不良時(熱中症など)を除き、マスクの着用を義務とする。

チームスタッフは常にマスクを着用すること。

競技者にはレース中のマスク着用を義務づけない。招集中・移動中・待機中はマスクを着用することとする。

(4) 競技者は、ゴール後にマスクの着用ができるようにチーム内で荷物等の連携をとること。付添いが、選手の衣類・荷物等を扱う場合は、手袋を着用し、ビニール袋等で直接触れないようにすること。

(5) 各校待機場所で自校の生徒が手・手指の消毒を行うための消毒液を用意すること。

(6) ゴミは持ち帰りとする。特に体液の付着したゴミは袋に入れて処理するなど注意を払う。

(7) 保護者・OB などの応援者の来場ができないことを関係者に周知する。

競技会場へ来場できる部員は、出場する選手(補欠を含む)、大会補助員、各中継所の付き添い、各校テント・貴重品管理者とする。『【別紙】神奈川県高等学校駅伝競走大会に係る参加者の人数制限について』を参照すること。

感染症拡大防止のため最小限の人数となるよう工夫をする。

(8) 声を出しての応援、集団での応援を行わない。

(9) 体調管理を万全にする。

駅伝競走大会参加については、つぎの手順により健康状態に問題がないことを把握したうえで認める。

ア) 顧問は生徒に駅伝競走大会1週間前からの体調管理を義務付ける。

(『【別紙1】大会前:新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート』を生徒に配付し、記入の指示をする。)

また『【別紙2】生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書』を配付する。

イ) 顧問は大会当日、記入済みの『【別紙2】生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書』を生徒から回収し、内容を確認し(保護者印など)、保管をする。体調につぎの点や、その他不安のある生徒がいた場合は、大会参加や競技会場滞在を認めず、家庭と連携を取り帰宅させること。

[参加や競技会場滞在を認めないケース]

・大会当日を含み、大会1週間前から37.5度以上の発熱がある。

・【別紙1】にチェックした項目が1つ以上ある。

・【別紙2】にチェックがない項目がある。

・その他、顧問が体調不良を理由に判断した場合。

ウ) 上記イ)のケースが発生した場合、大会本部に速やかに報告をする。

エ) 生徒から回収した【別紙2】の結果、問題がないことが確認できたら、『【別紙3】参加状況確認書』を大会本部へ提出する。

オ) 【別紙1~3】は高体連ホームページからダウンロードできます。

(10) 大会参加にあたっては、必ず学校長の承認を得ること。

(11) 競技会終了後の体調管理を行う。

ア) 顧問は日本陸連の HP から『【大会後/個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート』をダウンロードし生徒に配付し、記入の指示をする。

イ) 生徒はシートのチェックに該当する症状が出た場合、あるいは体調に不安を感じた場合は、保健所に相談するとともに顧問に報告をする。

ウ) 顧問は、生徒から上記イ)について報告を受けたら速やかに高体連陸上競技専門部委員長へ報告をする。

4 大会主催者の感染症予防対策

(1) 会場計画

- ・3密を回避、ソーシャルディスタンスを確保した会場計画・ゾーニングを行う。
- ・参加ランナーと競技運営関係者の動線をできる限り分ける。
- ・密閉空間(換気の悪い密閉空間である)と、密集場所(多くの人が密集している)の対策。
更衣室、各中継待機場所、給水所、トイレ等において、換気の徹底とソーシャルディスタンスを確保する。

(2) 競技運営

- ・次の①～⑤を順守する。
- ①ソーシャルディスタンスを確保した競技運営
- ②3密を回避した競技運営(特に密集・密接)
- ③効率的な運営
- ④接触を極力回避した給水所の運営
使い捨て手袋などの着用／手渡しでの提供は行わない／余裕を持ったテーブル配置など
- ⑤給水所にスポンジは使用しない。

(3) 医療対応

- ①医師／看護師で構成された医療チーム医務室・救護室に常駐させ、常に相談ができる体制を整える。
- ②感染疑いがある者への対応は医師／保健師／看護師へ相談、感染症予防対策マニュアルに沿って対応する。
- ③発熱者が出た場合の隔離室または隔離できるテントを用意しておく。

(4) トイレ(便座、ドアノブ、水洗トイレのレバーなどを清潔に保つ。)

- ①感染症防止の張り紙を添付するなどの工夫をする。
- ②常設トイレ:洋式トイレではふたをした後流すことの徹底をする。(石鹼または消毒液の常備)
- ③仮設トイレ:消毒液の設置をする。

(5) ゴミの廃棄

- ①参加選手各自で管理するなど、極力ゴミが出ないような運営を検討する。
競技施設内はゴミ箱を撤去し、ゴミは各自持ち帰るように事前に周知し、かつアナウンスする。
- ②主催者はマスクなどのウイルスが付着している可能性のあるゴミを、使い捨て手袋、トングなどを使用しビニール袋に入れて密閉して縛り廃棄をする。

(6) 沿道の応援

- ①地元住民含め沿道での応援の自粛要請
- ②沿道の中でも特に混雑が予想されるエリアの対策
応援自粛・ソーシャルディスタンスの確保、ポスターの掲示、スタッフによる滞留禁止の呼びかけなど。
- ③沿道から声援を送らない。

【駅伝競走大会での対応】

1 招集

- ・決められた時間(駅伝監督会議で周知)にスタートする場所へ集合し、現地でチェックを受けること。
- ・決められた時間にスタートする場所にいない競技者は、欠場したものと処理します。

2 中継所での業務

- (1) 各中継所において、待機場所にゆとりを持たせる。
- (2) フィニッシュ後に留まることを短時間とする。

【メディア・取材への対応】

- 1 メディア・取材については事前に申請のあったものに限定し、最小限の人数で対応するよう協力を依頼する。
- 2 取材者には感染症拡大防止対策の基本事項を遵守させ、生徒との接触は最小限とするよう協力を依頼する。